



「使える」ICTの運用と「新たな」ICTの導入で  
訪問看護ステーションの業務をもっと効率化する！  
公益社団法人広島県看護協会 訪問看護ステーション

広島県広島市・呉市  
5事業所／職員数 112 名（うち看護職員数78名）



## 課題・背景

### ①職員の業務負担の増加

訪問看護の依頼増加、通常訪問に加え新型コロナウイルス感染症への対応、職員の負担軽減のために業務効率化が必要

### ②職員のICT活用度の低さにより業務効率化につながらない状況（2020年2月第1回職員アンケートを実施した結果より）

全看護職員にタブレット端末を貸与し、クラウド型電子化カルテを導入したが、職員のICT活用度が低く、業務効率化につながらない

#### 職員のICT活用度の低さと事業所格差

- 職員にはICT活用によって業務効率化できた実感がない
- 事業所間でICT活用による業務効率化に差がある

## 目的・目標

### ①職員のICT活用推進、ICT活用に関する事業所間格差の是正

### ②職員主体のICT活用推進体制の構築

▶ 職員がICTを有効に活用することで業務が効率化され、余裕をもって仕事ができる

## 取り組み内容

### 2020年2月 委員会活動による課題解決への取り組み

○既存の「記録委員会」を活用し、各事業所職員が主体的に取り組む体制の構築

- 時間：タブレットの操作・入力 ▶ ・音声入力の活用推進
- 入力：電子カルテに入力する項目 ▶ ・電子カルテのカスタマイズ
- 印刷：印刷すべき資料が不明確  
印刷不可能な環境 ▶ ・印刷対象を示したマニュアルの作成  
・タブレット端末からの印刷可能へ

### 2020年4月 新たなICTの導入

- クラウドストレージ ▶ ・マニュアルや共通様式の保管  
・リアルタイムな情報を共有  
・メールや郵送での送受の手間を削減
- Web会議システム ▶ ・会議・委員会開催への活用  
・直行直帰する職員のアルコールチェックへの活用

### 2021年11月 職員のICT活用状況と課題の可視化

○第2回職員アンケート（n=78）（ICT導入1年後）の結果

- ICT活用度が向上  
「ICTにより業務効率化できた」職員の割合 66% → 75%
- 事業所間の格差が縮小  
「ICTにより業務効率化できた」職員の割合  
最高値の事業所 94% ▶ 前回59ポイント差から  
最低値の事業所 46% ▶ 48ポイント差に

### 2021年11月～ 委員会活動による課題解決への継続した取り組み

○第2回職員アンケートからの課題である「看護記録方法」に対して、取り組んだ効率的な記録ができる体制作りを記録委員会主体で進めた

- 音声入力への困難感 ▶ ・音声入力の効果的な利用方法とメリットの周知
- 記録時間  
電子カルテに入力する内容の多さ ▶ ・「看護記録記載基準」の作成  
(クラウド型電子カルテ版)  
・電子カルテの便利機能の周知  
・「記録監査体制」の構築

### 2022年4月～ 目標達成のための継続した取り組み

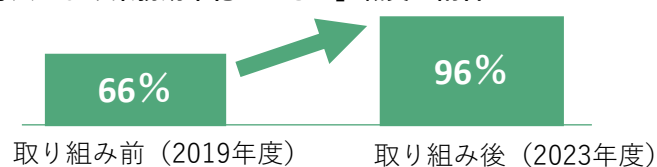
○第2回職員アンケートでICT活用度向上が確認できたため、更に新たなICT導入

- オンライン教育ツール ▶ ・タブレット端末からいつでもアクセスでき  
職員の利便性向上
- 職員アンケート・委員会活動の継続  
▶ 課題に焦点化したアンケートの実施  
第3回職員アンケート（2023年7月）では、継続した課題となっていた「音声入力」に焦点を当て調査。事業所間での音声入力の活用度格差が見られた
- ▶ 委員会活動の広がり  
教育委員会もICT活用のための取り組みを行い、各委員会の活動に「ICTの活用」を位置づけた

## 成果・効果

### ① 職員のICT活用度の向上

○「ICT導入により業務効率化ができた」職員の割合



※2019年度：第1回職員アンケート（n=77）、2023年度：第3回職員アンケート（n=71）

### ② 事業所間（5事業所）のICT活用度の格差改善

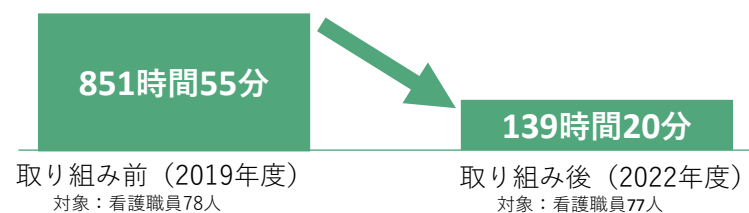
○「ICT導入により業務効率化ができた」事業所格差



### ③ 時間外業務時間の削減

○時間外勤務時間の減少（法人内5事業所の合計）

※記録・報告等に係る時間外勤務時間の年間合計（緊急訪問の時間は除く）



### ④ 職員の業務負担の軽減

※広島県版自己点検ツール（看護職が働き続けられる職場環境づくりのためのアンケートより）

○「時間内に仕事が終わらず超過勤務が続いており疲れ果てている」  
常勤職員平均値 2020年度 3.18ポイント ▶ 2022年度 2.96ポイントに改善

### ⑤ 訪問看護利用者の満足度の向上

※「訪問看護利用者満足度調査」での「とても思う」「そう思う」の回答割合

○「看護師は本人・家族の希望や考えなど、話をよく聞いてくれる」  
2020年11月（n=549）74% ▶ 2022年11月（n=514）78%

○「看護師は他の関係者と適切に連絡をとってくれる」  
2020年11月（n=549）70% ▶ 2022年11月（n=514）74%